

「谷浜・桑取区」の将来ビジョン

ありたい姿(キャッチフレーズ)

谷浜・桑取区らしさである海から山までの地域資源を活かし、
地域内外との交流により、桑谷ファンを増やします！！

実現するための4つの柱(方向性)

担い手・後継者の確保



- 谷浜・桑取区の「らしさ」「ならでは」であるNPOや生産組合等の既存組織の活力、歴史や伝統の継承、人と人とのつながりなどを活かし、「見る」から「体験」までのきっかけづくりを大切にした農業と地域の担い手確保、コロナ禍における第2のふるさとづくりに努めます

農業生産維持に向けた作物選定・所得確保



- 豊富な山・海のめぐみや貴重な地域資源を活かした食のブランド化に向けた取組を推進します。
- 谷浜・桑取区の今(ひと・食・伝統・暮らしなど)を発信し、さらなるファンづくりに努めます。

農業機械・スマート農機の共有化・共同利用



- 既存制度を活用した先進機器導入や将来を見据えた機械の共同利用を促進します。
- 「担い手・後継者」「土地利用・農地条件」に関する取組とあわせた一体的な対策を講じます。

土地利用の明確化・農地条件の改善



- 豊富な水資源や水源涵養活動を活かし、地域の農地・農業施設を将来にわたって維持していくための対策の検討(集落戦略の作成)を令和4年度中に行い、将来に向けて守るべき農地等を明確にします。
- その上で、将来を見据えた計画的な農地・農業施設の整備・修繕等を実施します。

アクションプラン

短期

令和5年度からの取組 ⇒ 「ロードマップ」を参照

中長期

区分	取組内容	いつ	だれが	どうやって
農業機械	農作業共同化組織の設立	10年後	JA青年部	直払棚田加算
土地利用	観光・家庭菜園農地の貸出	10年後	集落協定	最適土地利用対策
土地利用	基盤整備の実施	未定	土地改良区	農業農村総合整備対策

事務局的作用を担う「活動のエンジンとなる組織」

「NPOかみえちご山里ファン倶楽部」と「桑谷農業振興会」との共同体

現状と方向性

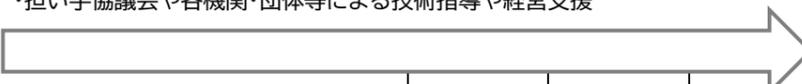
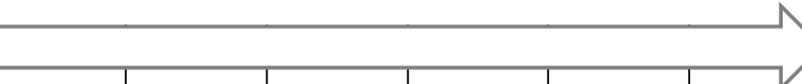
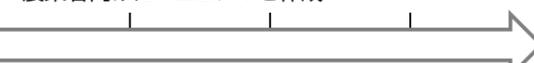
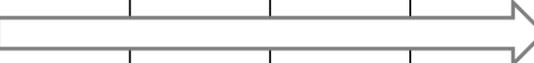
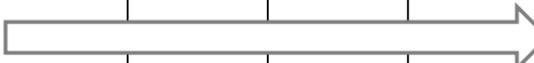
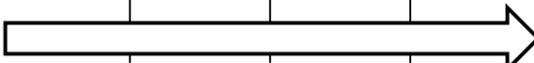
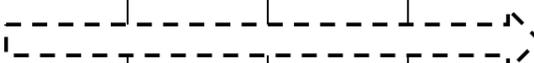
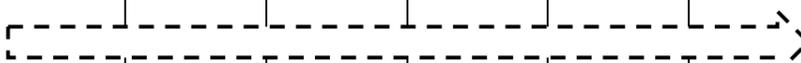
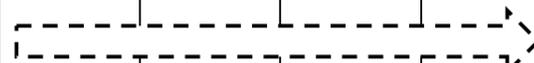
- 担い手となる農業者の確保に苦慮しているが、確保した後の通年就労環境を整える必要あり
- そのため、NPOと集落協定とが中心になって、地区内の商工業者も交えた協議体を形成

担い手を確保できたとしても、農閑期の生計を維持できる仕事があれば定着できない。農業以外の他業種でも、季節的な労働需要はあるものと見込まれることから、桑谷で担い手が暮らしていくための通年就労環境を整備すべく、担い手の確保に取り組む集落協定と、移住者の受け入れノウハウを有するNPOとが中心となって、異業種を交えた協議体を形成する。

【谷浜・桑取区】

～取組の実践に向けたロードマップ～(令和5年3月29日決定)

グループ名「 担い手 」

取組内容	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
①農業体験の受入に向けた体制整備 【事業主体:関係機関・団体】	<ul style="list-style-type: none"> ○受入先の掘り起こし(農家・地域) ○農業後継者を望む者の把握⇒アンケートを実施し、リスト化する  <ul style="list-style-type: none"> ・JAが実施する育苗指導会や穂肥指導会等への参加者へ呼び掛け ・後継者を希望する農業者の把握 ・就農意向住民の把握 						
②農業体験希望者の受入 【事業主体:地区内農業法人】		<ul style="list-style-type: none"> ○農業体験希望者の受入募集(定年就農者・通い農業者含む) ○受入先農家での農業体験の実施(市のおためし農業体験等の事業活用(移動は市が補助する))  <ul style="list-style-type: none"> ○募集方法 ・市・県HPの活用や各種就農フェア等への出展(市事業の活用) 	<ul style="list-style-type: none"> ○体験実施後 ・体験者への聞き取りを実施し、その結果を今後の体験事業の改善等に活用 		<ul style="list-style-type: none"> ○地区内での就農・就業 ・国・県事業等の活用による機械施設等の導入支援 ・担い手協議会や各機関・団体等による技術指導や経営支援 		
③担い手の募集 【事業主体:関係機関・団体】		<ul style="list-style-type: none"> ○担い手となる候補者の募集(定年就農者・通い農業者含む) ○意向調査を踏まえたマッチングの実施  <ul style="list-style-type: none"> ○募集方法 ・市・県HPの活用や各種就農フェア等への出展(市事業の活用) ※出展にあたり、県内外へアピールするため、通年の就労モデルを示す 			<ul style="list-style-type: none"> ○地区内での就農・就業 ・国・県事業等の活用による機械施設等の導入支援 ・担い手協議会や各機関・団体等による技術指導や経営支援 		
④マニュアルの作成 【事業主体:関係機関・団体等】	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に適した作物を選定し、定年就農者や通い農業者向けにマニュアルを作成  <ul style="list-style-type: none"> ・通い農業者向けの農地の確保(意向調査と合わせ農地提供者の把握) 	<ul style="list-style-type: none"> ○マニュアルに基づき栽培 ・マニュアル以外にも、関係機関・団体等による栽培指導を実施 					
⑤半農半「X」の推進 【事業主体:活動のエンジンとなる組織】	<ul style="list-style-type: none"> ○地域内異業種の季節就労ニーズ把握 ○新規就農者の農閑期就労状況の把握 ○先進地の事例研究 ○各種支援制度の研究(特定地域事業協同組合、労働者協同組合など) 	<ul style="list-style-type: none"> ○新規就農者×異業種就労マッチング調整 ○就労の試行 					
⑥地域おこし協力隊の導入	<ul style="list-style-type: none"> ○活動内容検討 ○受け入れ希望地域の検討 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の合意形成、細部検討 ○住居の整備、隊員募集 等 		<ul style="list-style-type: none"> ○地域おこし協力隊の受入れ(3年間) 		<ul style="list-style-type: none"> ○就農、定住 	

【谷浜・桑取区】

～取組の実践に向けたロードマップ～（令和5年3月29日決定）

グループ名「 作物選定 」

取組内容	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
①山菜の収穫作業体験を促進する 中心的組織 ・フレッシュ生産組合	取組み組織の検討 （フレッシュ生産組合等）						
	山菜の収穫体験の検討 （品目：ふきのとう、ウド、ワラビ、フキ等） 農業高校と連携した収穫作業等の検討 （いつ、何人で、どの位で、何回）	山菜の収穫体験	➔				
②山菜を活用した所得確保	販売先の検討 （吉池、朝市、ゆったり村等）	➔					
③振興作物（ブルーベリー等）を栽培する	取組み主体と植栽箇所の検討 （誰が、どこで）	ブルーベリーの植栽・管理 （市単独事業の活用を検討）			ブルーベリーの収穫・販売	➔	
	販売先の検討 （あるるん畑等）						
④情報を発信する	情報発信主体、発信拠点の検討 （どこが？）						
	情報発信形態の検討 （インターネット、SNS）	発信体制や機器等の準備・整備・発信 （地域の作物、特産品、農産物の販売）	➔				

【谷浜・桑取区】

～取組の実践に向けたロードマップ～(令和5年3月29日決定)

グループ名「 農業機械 」

取組内容	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
①農作業の共同化を進める	<p>農作業の共同化を希望する農業者の実態把握(農業者アンケート)</p>	<p>具体的にどの作業が共同化できるのかを検討</p>	<p>新たな組織の立ち上げ準備(必要に応じて)</p>	<p>新たな組織の立ち上げ、運営開始(必要に応じて)</p>			
		<p>農作業を共同化するための組織形態を検討(組合?法人?)</p>	<p>先行事例視察</p>	<p>オペレーターの明確化</p>	<p>共同利用機械の購入(補助事業活用)</p>	<p>組織のステップアップ(法人化、農地の集積・集約化等)</p>	
②ドローンによるカメムシ防除を共同で実施する	<p>カメムシ防除の実態把握(共同?個人?)</p>	<p>ドローン防除希望調査、とりまとめ</p>	<p>防除委託業者選定、委託料交渉</p>	<p>ドローンによるカメムシ共同防除の実施</p>			
		<p>ドローン防除のデモ運転依頼</p>		<p>地域内のドローンオペレーターの掘り起こし</p>	<p>ドローン操縦技能資格取得</p>	<p>ドローンの購入(補助事業活用)</p>	<p>地域内組織による自前でのドローン共同防除実施</p>
③ラジコン草刈り機による法面除草の共同作業	<p>法面除草の実態把握(共同?個人?)</p>	<p>ラジコン草刈り機による除草希望調査、とりまとめ</p>		<p>ラジコン草刈り機による法面除草の共同実施</p>			
		<p>ラジコン草刈り機のデモ運転依頼</p>	<p>地域内のラジコン草刈り機オペレーターの掘り起こし</p>	<p>ラジコン草刈り機の購入(補助事業)</p>			

【谷浜・桑取区】

～取組の実践に向けたロードマップ～(令和5年3月29日決定)

グループ名「 土地利用 」

取組内容	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
①鳥獣被害対策の実施 (地区全体を広く網羅する電気柵等の設置) 【事業主体:谷浜土改】	被害箇所の把握 被害箇所の可視化(図面整備) 要望提出 (上越市鳥獣被害対策協議会)		電気柵等(場所によっては鉄柵)の設置 ※地元負担分及び設置費用は、多面的機能支払交付金を活用する。 (不足分は中山間地域等直接支払交付金を充てる)				
②農道、水路等のインフラ管理体制の構築 (管理の省力化に向けた整備を含む) 【事業主体:谷浜土改】	整備必要箇所把握 整備順位付け 管理体制整備に向けた検討(情報通信環境整備対策事業の活用含む)	多面的機能支払交付金計画変更案作成・提出	整備(水路高上げ、取水口更新、水路の蓋掛け等の実施) (情報通信環境整備対策事業要望作成・提出)		(情報通信環境整備対策事業計画策定事業)		
③基盤整備の実施 【事業主体:桑谷農業振興会、谷浜土改】	将来残す農地の要望調査・整理 中山間地域における圃場整備の先進地視察		圃場整備計画作成・要望提出 (中山間地域総合整備事業)			圃場整備事業実施に向けた調整等 (中山間地域総合整備事業)	
④農地貸出 (観光農園や家庭菜園用貸し農地)	貸出農地場所の選定や制度の確認 ※SNSで話題になるような海が見える農地等	貸出農地借り受け者の募集等					